

講義コード	1034	科目区分	専門教育科目
(フリガナ)	ぼうえきろん I	(フリガナ)	うめもとまさる
授業科目名	貿易論 I	担当教員名	梅本 克
英文授業科目名	International Economics I		
基準年次(開講期)	3年(前期)	履修形態	選択
曜日/ 時限/ 講義室	木 1 限/ 池袋		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	自由貿易、比較優位		
授業概要・目的	本授業では、国際貿易の基礎理論を学び、その意義と現実的含意を明らかにする。 国際貿易の基礎概念と基礎理論をより深く理解し、現実分析に応用できることを到達目標とする。		
到達度評価の評価項目	授業内容に沿った課題への取り組み姿勢と回答の内容にて到達度を確認する。		
授 業 計 画			
第 1 回	オリエンテーション		
第 2 回	技術力と貿易①		
第 3 回	技術力と貿易②		
第 4 回	基礎的分析ツール①		
第 5 回	基礎的分析ツール②		
第 6 回	貿易のメリットと国際貿易体制①		
第 7 回	貿易のメリットと国際貿易体制②		
第 8 回	要素賦存量と貿易①		
第 9 回	要素賦存量と貿易②		
第 10 回	生産要素市場①		
第 11 回	生産要素市場②		
第 12 回	所得分配①		
第 13 回	所得分配②		
第 14 回	国際要素市場①		
第 15 回	国際要素市場②		
教科書・参考書等	「国際経済学へのいざない 第2版」 日本評論社 2014年		
授業で使用する機器等			
予習・復習へのアドバイス	授業への参加および予習・復習のため、テキストは必ず入手すること。		
履修上の注意・受講条件等	課題にはテキストでの自習が必要となる。		
成績評価の基準等	毎週配布する課題で評価する。課題は、授業内で配布される用紙を使用し、翌週の授業内で提出されたもののみ評価対象とする。8回以上の提出がない場合、「未履修」とする。課題は、評価基準に満たす場合のみ「合格」とし、8回以上提出しても「合格」した課題が8回以上ない場合は「不可」とする。		
メッセージ	授業の理解には、課題に取り組むことが必要になる。課題に独りで取り組むことは困難なため、友人との協働作業を勧める。		
オフィスアワー	月水金 13:30~14:30		
その他	参考書:「国際経済学を学ぶ」有斐閣、「はじめて学ぶ国際経済」有斐閣、「グローバル・エコノミー 第3版」有斐閣、「ゼミナール国際経済入門」日本経済新聞社		

